

【消臭試験(ホルムアルデヒド低減試験)】

初期濃度 15ppm のホルムアルデヒドの厚紙にアース水を噴霧し、乾燥後に検知管法により、数値低減実験をしたところ、時間の経過と共に、ホルムアルデヒド数値が急降下し、二時間後には残留ガス濃度が 0 になった。ホルムアルデヒドを低減させる類似品はあるが、0 を記録させた試験資料は皆無であり、実験機関でも画期的な出来事となった。本実験結果は、新建材に含まれるホルムアルデヒド等々による健康被害が社会問題化されている中、アース水の床・壁・天井への噴霧による部屋全体のアース加工は、健康被害を抑止する能力があることが立証された。また、ホルムアルデヒドへの分解能力は、他の類似の臭い成分の分解にも有効と考えられ、消臭効果があることも立証されたと、同測定機関ではコメントしている。

試験項目 消臭性試験

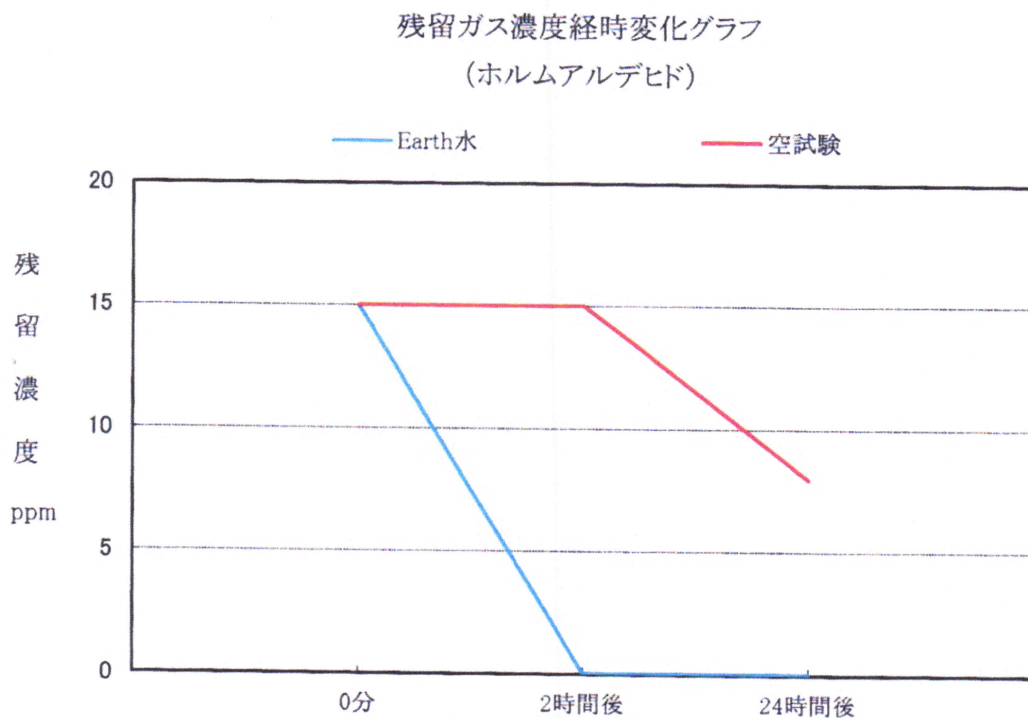
試験試料 アース水

試験容器 5L スマートバッグ PA

試験ガス ホルムアルデヒド(初期濃度:15ppm 試験容器内容量:3L)

試験方法 検知管法

測定結果 以下のグラフに示す



測定機関「イオン情報センター」